有田町社協だより

●ボランティアだより●

第48号　平成26年5月

発行／社会福祉法人
有田町社会福祉協議会

●本　所
〒844-0027
有田町南原甲664番地4
TEL0955-41-1315

●西有田支所
〒849-4153
有田町立部乙2462番地2
TEL0955-46-4733

印刷／印刷ショップありた

ちろりん村に思わぬサプライズ!

4/22 子育てサロン「ちろりん村」の開催日に、たまたま通りかかった伊万里・有田消防本部の消防自動車が立ち寄ってくれ、ちろりんのよい子たちに笑顔をプレゼントしてくれました。

もくじ

平成26年度 有田町社協事業計画・収支予算の概要 …… P2・3
ご寄付のお礼 …… P4
認知症サポート事業講演会、災害訓練を実施、防犯ブザーをプレゼント …… P5
チャイルドシート寄贈のお礼、高齢者サロン開催中、5・6・7月の相談所のお知らせ …… P6
ボランティア入門講座案内、「やまびこ会」会員募集、「きらきら」臨時職員募集 …… P7
社協から催しものをお知らせ、日本赤十字社社費を募集 …… P8

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

平成26年度有田町社協の事業計画の主なものを紹介します。

町民の方のご理解とご支援をお願いします。

■地域福祉活動計画を基本に、ボランティアの育成や地域ネットワークの強化に取り組み、積極的に地域に出向き、地域住民との協働により、困難な課題にも取り組み、地域福祉と在宅福祉の推進を図ることを今年度の目標とします。

1. 地域福祉活動の推進

①地域福祉活動計画の継続実践
②地域福祉活動事業への助成
③福祉のつどいの開催
④地区座談会の開催
⑤福祉ネットワーク会議の開催

2. ボランティア活動の推進

①ボランティア入門講座・養成講座開催
②傾聴ボランティアスキルアップ育成講座開催
③高齢者サロンリーダー育成講座開催〔新規〕
④ボランティア活動保険加入手続き及び助成
⑤ボランティア連絡協議会運営支援
⑥学校ボランティア育成事業
⑦町民災害ボランティアセンター事業
（会員の募集・連絡会議の開催、会員研修）

3. 相談援助活動の推進

①心配ごと相談・法律相談所の開設
〔第３火曜日・10時～16時　社協会館〕
②よろず相談の受付
（本所・支所担当者の設置）
③福祉サービス利用援助事業
（あんしんサポート）の実施〔生活支援員３名〕
④苦情解決システムの充実〔第三者委員制度〕

4. 調査・広報・啓発活動

①社協だよりの発行　年６回
②福祉情報『かわら版』発行　年３回
③社協出前講座の実施〔新規〕
④小中学校での福祉体験教室開催
⑤共同募金パートナーミーティングの開催
⑥ホームページの公開

5. 高齢者福祉の推進

①はればれクッキング開催　年６回
（高齢者料理教室）
②一人暮らし高齢者のつどい　年１回
③高齢者サロン開催支援
④老人クラブ連合会スポーツ大会支援
⑤米寿・金婚夫婦該当者への記念品贈呈
⑥赤い羽根ニュースポーツ大会の開催〔新規〕

6. 児童・母子福祉の推進

①子育てサロン「ちろりん村」開催
第２・４火曜日 老人福祉センターちとせ
②サマースクールきらきら開催
夏休み期間（７月22日～８月29日）月曜～金曜まで、小学１年生から４年生までの預かり
③親子サロン開催
④チャイルドシート・ジュニアシート貸出事業
⑤親子クッキングパパ教室〔年５回〕
⑥小学新一年生へ防犯ブザー贈呈
⑦遺児入学祝金支給事業

7. 障害者福祉の推進

①車いすマラソン大会協力・助成
②ふれあい移送サービス〔特殊車輌を必要とする障害者移送〕
③伊西地区なかよし運動会協力、助成
④あすなろ祭参加協力

8. 低所得者福祉事業

①有田町社協 福祉資金貸付・償還業務
②佐賀県社協 生活福祉資金貸付受付・償還業務
③生活相談員の設置・関係機関との連携

9. 介護予防事業・生活支援事業

①高齢者ホームヘルプ事業
②配食サービス事業（月～金　夕食弁当）
③介護予防教室（フレッシュくらぶ）事業
（月～金 週８回開催　運動・栄養・口腔ケア）
④脳トレ教室〔週１回 ６ヶ月間・新規〕
⑤健康体操教室〔年10回 ・新規〕
④外出支援事業（ふれあい移送サービス・特殊車輌での医療機関への送迎）
⑤在宅サポート事業（介護保険外の訪問介護サービス、通所介護サービス）
⑥家族介護教室（年４回）

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

⑦認知症予防講座（７地区で開催）
⑧認知症サポート事業（認知症を理解する講座）
⑨買い物支援事業（２地区）
⑩片付け支援事業〔ごみ屋敷対策・新規〕
⑩ゴミ出し協力員事業
⑪福祉用具貸出事業〔電動ベッド、車いす他〕
⑫地域包括支援センターとの連携（職員の出向）

10. 在宅介護支援センター事業

在宅高齢者の実態把握及び訪問、保健福祉サービスの紹介、福祉に関する総合相談、福祉関係機関との連携、家族介護教室の企画実施

11. 介護保険事業

(1)指定居宅介護支援事業（ケアマネージメント）介護サービスを利用するにあたって、ケアプランの作成、実施状況の把握、給付管理など。
(2)指定居宅サービス事業
①指定訪問介護事業【ホームヘルプサービス】
利用者宅訪問による身体介護・生活支援
②指定訪問入浴介護事業
利用者宅訪問による簡易浴槽でのお風呂介助
③指定通所介護事業【デイサービス】
・デイサービスセンター「やすらぎ」経営
・デイサービスセンター「くつろぎ」経営
送迎、健康チェック、入浴、給食、運動、レクリエーションなど。

12. 障害福祉サービス事業

①指定障害福祉サービス等事業【ホームヘルプサービスの実施】

13. 施設の管理運営

①福祉センターふれあいの受託運営
②老人福祉センターちとせ及びいこいの広場の指定管理運営

14. 共同募金有田町支会事業

①運営委員会及び配分委員会の開催
②赤い羽根共同募金運動　10月１日から
[戸別・法人・団体・街頭・資材・イベント・学校募金など]
③災害義援金の募集
④災害見舞金の支給

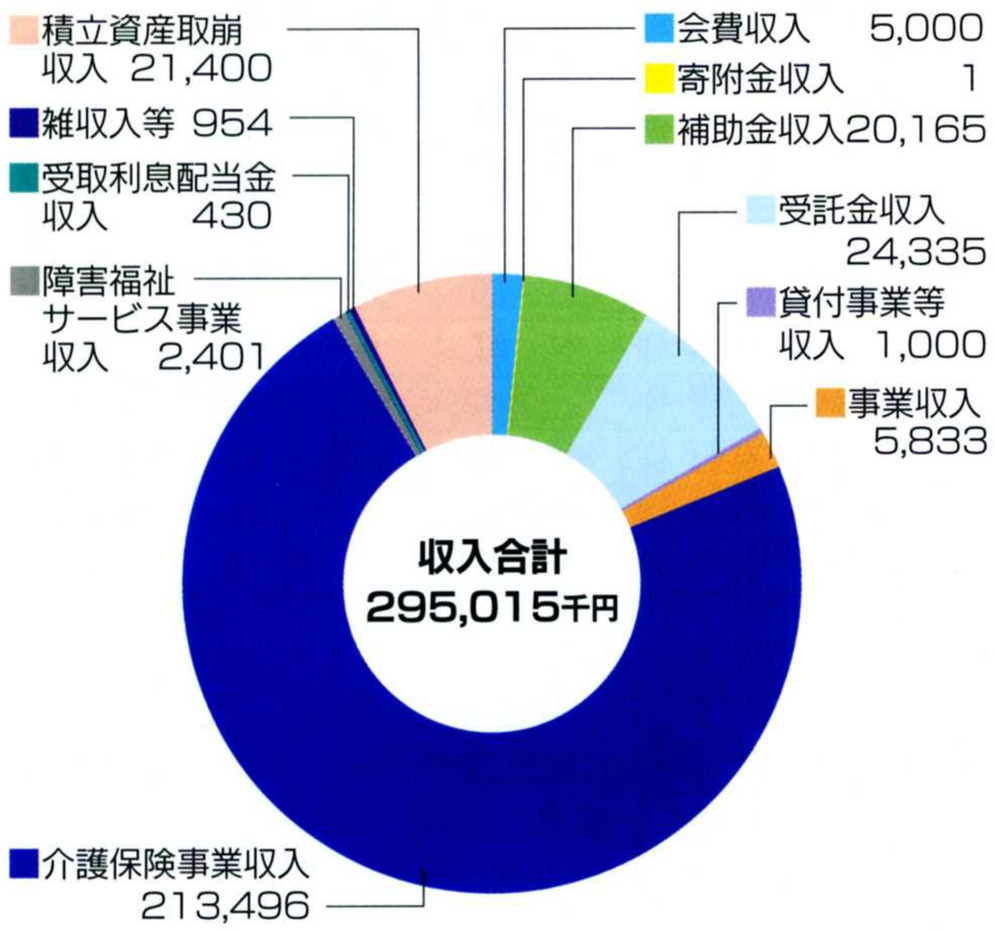
15. 日本赤十字社有田町分区事業

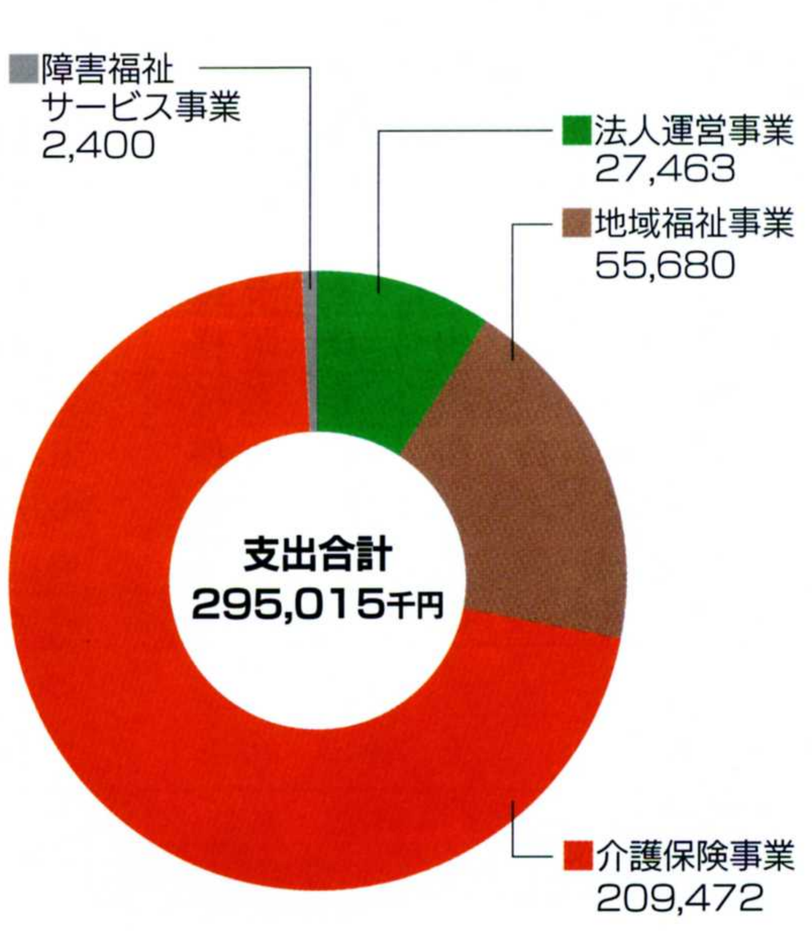
①日赤社費募集　5月1日から [戸別・法人等]
②救急法講習会への参加
③災害食の備蓄
④災害義援金の募集
⑤罹災世帯への災害見舞金及び見舞品の支給

平成 26 年度

有田町社会福祉協議会収支予算

（単位：千円）





この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

ご芳志ありがとうございます。

寄付金の公表について

有田町社会福祉協議会では、町民の皆様からいただいた寄付金（香典返し等）については、寄付をいただく際に、寄付申込書にて寄付なされる方の意思をお伺いしております。

有田町社協としては、寄付者の意向を尊重し、寄付申込書にしたがって、下記のような公表をさせていただきます。

① 寄付者名・地区名、物故者名、金額全て載せてもいい。
② 寄付者名・地区名、物故者名までは載せて、金額は載せなくてよい。
③ 全て載せなくてもよい。

町民の皆様のご理解を賜りますようお願いします。

皆様からいただきました貴重な浄財は
社会福祉事業に幅広く使わせていただいております

〔寄付者にその意向をお尋ねした結果、一部記載がないところがあります。〕

●香典返し

【自 H26.3.1 ～ 至 H26.4.30】

寄付者名	地区	物故者名	金額
伊藤　勝美 様	丸　尾	草場松枝様	30,000円
松永　敏憲 様	本　町	八千代 様	50,000円
梶原謙一郎 様	黒牟田	チヱ子 様	50,000円
碇　　為夫 様	大　野	初　子 様	30,000円
松永　浩幸 様	楠木原	勉　様	50,000円
岡本　政子 様	戸　杓	榮　司 様	30,000円
中原　　康 様	戸　矢	重　代 様	70,000円
西山　保広 様	戸　杓	保　様	100,000円
円田　民枝 様	戸　矢	文　男 様	100,000円
柴田　守秋 様	山谷切口	ト　モ 様	30,000円
迫間　文子 様	南　山	俊　昭 様	30,000円
高取　嘉通 様	白　川	春　惠 様	30,000円
北川　滋子 様	白　川	輝　久 様	50,000円
龍　シズエ 様	上山谷	政　司 様	30,000円
清水　康子 様	稗古場	邦　夫 様	30,000円
原田　眞一 様	赤　坂	ツギノ 様	50,000円

【自 H26.3.1 ～ 至 H26.4.30】

寄付者名	地区	物故者名	金額
古川フジヱ 様	北ノ川内	靖　信 様	30,000円
栗田　康博 様	南　山	田鶴枝 様	30,000円
中原　　学 様	泉　山	節　子 様	30,000円
下野トシ子 様	戸　矢	政　利 様	100,000円
池田　忠史 様	泉　山	数　江 様	寄付者のご意向により金額は載せておりません
青木　正安 様	泉　山	雪　江 様	
南　ヨシ子 様	外尾町	和　久 様	
舘林　厚子 様	南　山	徳永ヨシ子様	
吉永喜代子 様	山　本	時　次 様	
金武久美子 様	二ノ瀬	久　枝 様	
井上　智雄 様	本　町	カツエ 様	
空閑　昭憲 様	下　本	フミ子 様	
山口　友行 様	戸　矢	喜美子 様	
岩永　勝法 様	楠木原	ハツ代 様	
川尻　初乃 様	赤　坂	文　雄 様	

●一般寄付

【自 H26.3.1 ～ 至 H26.4.30】

有田町消費者グループ協議会		5,000円	社会福祉事業資金
榊　キクエ 様	桑古場	100,000円	社会福祉事業資金

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

認知症サポート事業講演会開催

もしかして認知症と思ったとき家族はどうするか

　認知症のことをよりよく知り、地域や家庭の中で認知症の方が安心して生活できるよう支援していこうという考えを広めるため、認知症サポート講演会を、3月15日、有田町福祉保健センターにおいて開催しました。

　講師に、医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院看護師長中島秀人氏を招き、「認知症を理解し地域で支えていくためのお話し」という題で以下のような内容の講演をしていただきました。

認知症の気付きやすいポイント

①もの忘れがひどい
②判断・理解力が衰える
③日付・時間・場所がわからない
④人柄が変わる　⑤不安感が強い
⑥意欲が無くなる　などの症状が現れる。

＊かかりつけ医がいる場合

・気付きやすいポイントを見て、主治医へ情報を伝える。
・ケアマネージャーへ相談する。

＊かかりつけ医が無い場合

・市町の地域包括支援センターに相談する。介護保険サービス利用相談、悩み相談など。
・社会福祉協議会や介護施設、病院の居宅介護支援事業所のケアマネージャーに相談する。

有田町民災害ボランティアセンター 災害訓練を実施

　大きな自然災害が起きると公的機関による被災者の救援はもとより、ボランティアによる被災者支援が大変重要になってきます。

　有田町社会福祉協議会では、町民災害ボランティアセンターの運営業務も行っています。

　3月8日㈯、有田町内で災害が発生したという想定で、社協職員による災害訓練を実施しました。

　社協職員の連絡網を使って、職員自身の安否、居場所、本所までの出勤が可能かどうか等の確認を取り合いました。その後出勤可能な職員による災害ボランティアセンターの立ち上げ、ボランティア受付の準備をしました。

　また、災害食の炊き出し訓練として、日赤の炊き出し用ガス釜2基を使い、災害用無洗米（ハイゼックス）を炊き、試食をしました。

～子どもたちの安全を願って～

防犯ブザーをプレゼント

　今年度小学校に入学した有田町内４小学校の新１年生188名に防犯ブザーを贈呈しました。

　3月14日、有田町社協会館において、町内４小学校の校長先生に、岩永社協会長が手渡しました。

　登下校中や屋外にいるときに、不審者から身を守るため、ブザーの使い方についても各学校で指導してもらいます。

ピカピカのチャイルドシートをいただきました♥

肥前有田ライオンズクラブ（馬場厚暢会長会員30名）から、４月９日、有田町社会福祉協議会にチャイルドシート３台を寄贈していただきました。

同クラブは、社会貢献活動の一環として、ボランティア活動や車いす寄贈などの事業を積極的に行っておられます。

今までは、町民への貸出用車いすを寄付されていましたが、最近では、チャイルドシートの貸し出し需要が多く、新品のチャイルドシート３台をご寄付いただきました。大事に使わせていただきます。ありがとうございました。

チャイルドシートは、（1週間以内・延長可）として無償で貸出しをしています。

高齢者サロン開催中

ただ今、高齢者サロンでは、新しく、黒川、２区、本町地区が加わって、町内16地区が開催されています。

それぞれの地区の公民館に集われ、リーダーさんを中心に、茶話会・健康体操・ゲーム等・趣味活動・おやつ作りや創作料理・講話など、皆さん楽しまれています。

社協では、寄り合いの機会を作り、日々の生活において、健康で生きがいのある生活ができるように支援する事業を行っています。

真新しい公民館でのサロンを開催（本町）

社会福祉協議会新事務局長に花田 利男 氏 が就任

3月31日付けで上瀧幸二事務局長が退任され、その後任に花田利男氏が4月1日付け有田町社会福祉協議会新事務局長に就任されました。どうぞよろしくお願いします。

上瀧前事務局長におかれては、平成20年６月から５年10カ月の間、社協に必要な諸規程や要綱等の整備、事業評価による見直しなど精力的に務めていただきました。お疲れ様でした。

5月・6月・7月の相談所のお知らせ

期日 5月 20日(火)
6月 17日(火)
7月 15日(火)

場所 有田町社協会館（南原）

時間
- 心配ごと相談（民生委員）
  10時から12時まで
- 法律相談（弁護士）
  13時から16時まで
  （法律相談は予約が必要です）

予約先：有田町社会福祉協議会
☎41−1315

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

～ボランティア入門講座のご案内～

ボランティアに興味がある。活動を始めたいがどうすればよいか知りたい。・・・
ボランティアを始めたいと思うきっかけは人それぞれです。
ボランティアは自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。
有田町社会福祉協議会では、ボランティアのことを知ってみたい、地域のボランティア活動に参加してみたいと考えている皆様を対象に「ボランティア入門講座」を開催します。
趣味や仕事の経験を活かして、地域に役立ちたい方など是非ご参加ください。個人でもグループでも参加ＯＫです。

【入門講座】
◆日　時　５月23日(金)　13時30分～15時
◆場　所　有田町社会福祉協議会
◆内　容　ボランティアの基礎
◆講　師　伊万里市社会福祉協議会
　地域福祉活動コーディネーター　西田 晃一郎 氏
◆申込み　５月20日(火)までに有田町社会福祉協議会ボランティアセンターへ申込み下さい。　☎41-1315

～朗読ボランティア「やまびこ会」会員募集中! ～

声の広報お届けボランティアを行っている「やまびこ会」は、現在８名の会員で活動を行っています。
活動内容は、月末と月初めの毎月２回、有田町社協会館会議室において、有田町広報紙を朗読し、録音機でCD盤（コンパクトディスク）に録音し、それを町内の目の不自由な方や町内の公共施設（生涯学習センター、役場、東・西図書館、社協など）に配布しています。
また、今年３月には、車輌競技公益資金記念財団からCDに録音できる器材一式（29万円相当）の寄贈を受けられています。

これまでのカセットテープからCD盤にて声の広報を聴けますので、希望者は、社会福祉協議会ボランティアセンターまでお問い合わせください。　☎41-1315

～サマースクール「きらきら」臨時職員募集～

有田町社会福祉協議会が行う「サマースクールきらきら」は、夏休み期間中、保護者が仕事等で子どもの世話や見守りができないという家庭のために、預かり・見守りをを行う子育て支援事業です。
夏休みの間、子どもたちのお世話・指導をしていただける方を募集します。

記

勤務期間…７月22日(月)～８月29日(金) までの月曜日から金曜日まで
勤務時間…８時15分～ 17時15分
勤務場所…天神公民館（８区 南山）
対　　象…小学校１年生から４年生まで40名
内　　容…子どもたちのお世話・見守り〔夏休みの宿題・レクリエーション等〕
募集人員…臨時職員 ３名
賃　　金…日額　6,200円
選　　考…募集締め切り後、採用面接を行います。
募集締切…６月16日(月)17時までに履歴書を有田町社会福祉協議会本所(南原)へ提出ください。
問い合せ…☎41-1315

社協から催しものをお知らせします

行事名	期日／場所	内容
ボランティア入門講座	5月23日(金)　13:30 有田町社協会館会議室	ボランティア活動に興味のある方、これから活動を始めたい方など。おもしろい話が聞けます。
脳のいきいき教室	5月26日(月)　10:00～11:30 有田町社協会館	定員20名で締切り 仲間同士で脳のエクササイズ、簡単な計算、音読、指体操など。
レクリエーション講座（一回目） 森 恵美先生	6月6日(金)　13:30～15:00 有田町社協会館	レクリエーションの基本とその方法などを楽しく学ぶ。 別途、回覧で募集中。
第2回親子クッキングパパ教室 小学１年生～４年生を対象	6月8日(日)　10:00～12:00 有田町福祉保健センター	親子deバーガー(手作りハンバーグ) 定員12組で締切り。 別途、回覧で募集中。
心配ごと相談	6月17日(火)　10:00～12:00 有田町社協会館相談室	民生委員児童委員(2名)による福祉総合相談受付
法律相談	6月17日(火)　13:00～16:00 有田町社協会館相談室	弁護士により、財産相続、金銭貸借、離婚問題、多重債務など法律に関する相談に応じます。(要予約)
レクリエーション講座（二回目） 森 恵美先生	7月4日(金)　13:30～15:00 有田町社協会館	いろいろな場で実践に役立つレクリエーションを伝授。 後日、回覧で参加者を募集します。
日赤水上安全法地区別講習会	7月12日(土)　14:00～16:00 有田中部小学校体育館・プール	水の危険性や心肺蘇生法（ＡＥＤを含む）の講習、溺者の救助法、着衣泳などプールでの実践。

日本赤十字社社費を募集

毎年５月は赤十字運動月間です。日本赤十字社佐賀県支部有田町分区では、平成26年度の社費を募集します。町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼ 一般社費（賛助会費）一世帯４００円以上　区長様を通じて募集いたします。

▼ 特別社員　1,０００円以上

５月中旬頃、担当地区の民生員さんが各事業所等を訪問し、社員加入のお願いに参ります。

▼ 日本赤十字社の事業

♥災害・紛争・食糧不足などに苦しむ国への援助・物資の提供・支援要員の派遣
♥災害救護活動
　自然災害・火災などの発生時に救護班の派遣や救援物資（毛布・日用品等）の支給
♥医療活動
♥看護師養成　赤十字看護学校運営
♥血液事業　　血液センター運営（採血・検査・製剤・供給業務）
♥救急法・健康生活支援・水上安全法講習
♥赤十字奉仕団活動
♥青少年赤十字活動

これらの事業を行うため、皆様の社員加入をお願い申し上げます。

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。